

孤立防止に向けて

7月19日(金)めまぐるしく変貌する社会情勢の中、これから目指す福祉について考えを一つにしようと、民生児童委員協議会3役・若槻支所長・コミわか区長部会3役・福祉部会長による地域福祉推進会議を行いました。まず「孤立」をキーワードに地域がどう関わっているのかについて、今回は対象を高齢者に限定し、ワークショップ形式で各自の意見を書いた用紙をグラフに張り付けながら確認していくと、体力的・気質的の2方向からの関わり方がある、ということにたどり着きました。これを区長の面的なサポートと民生児童委員の点的なサポートにより、具体的な取り組み方を作り上げていこうとしています。今後も子育て世代、若者世代について引き続き議論していく予定です。

(地域福祉ワーカー 宮澤由枝)



ぴっかり教室 (全11回)

6月25日(水)開催のぴっかり教室は、長野市民病院地域医療連携室のソーシャルワーカー 西本洋さんのお話を聞きました。

病院内の地域医療連携室は、病気やけがにより起こる様々な心配事や不安について相談できる場所である事がわかりました。医療の高度化や、高齢化社会が進む中、もし病気になったとき、「自分はどのように生きていきたいのかを、普段の健康な時から家族と話し合っておく事が大切」というお話が心に残りました。

(健康部会)

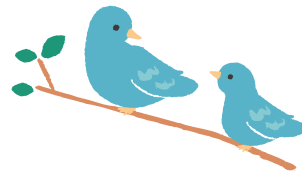
ぴっかり教室 今後の予定

●●● 知って安心これからの知恵 ●●●

◆場所 若槻コミュニティセンター大会議室 ◆時間 10時～11時30分

回	日程	内容
5	8月20日(水)	Q→認知症って? A→正しく知る必要があります <正しい理解> ・認知症サポーター養成(人形劇) ・若槻団地「手と手」(宅老所)原山直人さんのお話(5回目)
6	9月24日(水)	<楽しく予防> 音楽療法「楽しい音楽で脳に刺激を」 ・NPO法人長野音楽療法研究会 室川先生(6回目)

長野市包括支援センター若槻ホーム } 共催
コミわか健康部会



※教室は無料で、申し込みも不要です。
また、1回のみでの参加でも結構です。

出前講座「外来生物の生態と駆除」を終えて

7月8日(火)に一般の方、各区長、関係者多数が参加し、県環境保全研究所・大塚先生の「外来生物について」を受講しました。外来生物の種類之多さと、繁殖力の強さを改めて知ることができました。私たちにできること。それは、「入れない・捨てない・拡げない」の予防三原則を守ることが重要です。今回の講座では、駒沢川堤でアレチウリ等の実生態を見聞しながら駆除の方法も学ぶことが出来ました。

(環境部会)



駒沢川にて実地研修

支所発地域力向上支援金交付事業が決定しました

●田子神楽保存会…………… 36,000 円
獅子笛を購入し、獅子舞の練習に参加する若手を育てる事業。

●田子秋の収穫祭実行委員会…… 170,000 円
地産地消、地域の活性化に役立っている「田子秋の収穫祭」の仮設店舗として使用するテントを購入し、野菜の販売を行う事業。

●三登山太鼓…………… 175,000 円
使用に耐えない響きの出ない太鼓と敗れ締め太鼓を更改し、年間25～35回の演奏活動に最大限の効果を発揮させる事業。

●若槻ふれあい弁当の会…………… 119,000 円
食事を作ることでできない高齢者等の家庭に弁当を宅配しているボランティア活動の認知を高め、利用者の増加を図るため、広告パンフレットの全戸配布等の「利用者の加入促進キャンペーン」を実施する事業。

(若槻支所)